

第1回たつの市新宮地域小中一貫校開校準備委員会小学校区部会（西栗栖小学校）
議事録

日時 令和5年12月13日（水）
午後7時から
場所 西栗栖コミュニティセンター

1 開 会

2 報 告

（1） たつの市新宮地域小中一貫校開校準備委員会の組織について【資料1～3】

<質疑応答>

（委員）

ホームページに名前を掲載すると住民から質問されることがあるかと思うが、協議が進められている内容について、どこまで話をしてよいのか基準を示してほしい。

（事務局）

ホームページに掲載する議事録の概要と紙で配布予定の準備委員会だよりに記載していることは伝えてもらっていい。その他のことは、協議中と答えていただきたい。住民からの要望については、委員の皆さんから部会を通じて事務局に伝えていくと返答いただければと思う。

（委員）

ホームページの名前掲載について、途中で委員が変更になったときは後任にも確認してもらえるか。

（事務局）

後任者に確認の上、名簿を掲載する。

3 議 事

（1） 部会長及び副部会長の選任について

<質疑応答>

部会長を小学校PTAの竹林 絢加氏、副部会長を地区自治会の今江 伸氏とする。

（2） 今後のスケジュールについて【資料4】

<質疑応答>

（委員）

スクールバスの協議の最終リミットはいつか。

(事務局)

令和8年度予算にバスの費用を計上したいと考えているため、バスの台数や大きさについては令和7年度の半ばが最終リミットとなる。

(3) 新宮地域小中一貫校における通学手段について【資料5】

<質疑応答>

(委員)

東栗栖の千本は西栗栖と隣接しているが、千本の児童は東栗栖小学校区域のバスに乗車するのか、西栗栖小学校区域のバスと一緒に乗車するのか。

(事務局)

現在は、東栗栖と西栗栖は別で考えており、千本の児童は東栗栖小学校区域のバスに乗車する予定である。帰りについては、西栗栖と東栗栖の2つの地区を合わせて低学年と高学年の2便に分けることがあるかもしれない。

(委員)

スクールバスの停車場が国道沿いになると、牧の児童は集合場所まで歩いていくのが遠くなるので、牧の近くに停車場を設けることは可能か。

(事務局)

現時点では、牧や下筋原の方も行けるよう検討している。次回、教育委員会の案を提案させていただきたい。

(委員)

スクールバスに乗車する場合、登校時時刻を何時に想定して、一番早い児童で何時頃の出発を想定しているのか。

(事務局)

現時点では、登校時刻を8時として検討している。バスの出発時刻については、次回、素案を示させていただく。

(委員)

西栗栖地区で一番遠い児童は現在7時に家を出ている。この時刻よりも早く家を出るようになることは避けてほしいので、登校時刻を遅くするなど、児童に無理のない乗車時間を設定してほしい。

(事務局)

できる限り無理のない乗車時刻となるように検討したい。ただし、登校時刻を遅くすると下校時刻に関わるため、総合的に判断する。

(委員)

中学生がスクールバスを利用することは考えているか。

(事務局)

保護者の意見を聞きながら、協議していく。

(委員)

中学生が電車通学しているが、通学費用には補助が出ているのか。

(事務局)

教育委員会で通学の定期代を全額補助している。

(委員)

電車通学となると、西栗栖駅には屋根がないので雨の日は利用しにくい状況である。地域や市から JR に対して屋根の設置を要望しているが、教育委員会側からも後押ししてほしい。

(事務局)

担当課に伝えておく。

(委員)

電車通学となる場合、登下校の時間帯のダイヤはどれほどあるのか。

(事務局)

朝は、7時17分発の1便。帰りは、15時30分発、16時57分発、18時10分発の3便がある。

(委員)

西栗栖は、過去にスクールバスの運行があったが、それがなくなった経緯は何か。

(事務局)

利用する生徒が減少する中で保護者とも相談し、総合的に判断したと聞いている。

(委員)

西栗栖の中学生については、電車とスクールバスのいずれかを選択するという方法も考えられるのではないか。

(事務局)

今後、その通学方法も含めて、皆さんと一緒に考えていきたい。

(委員)

中学生だけのためのバスを走らせることは可能なのか。

(事務局)

中学生がスクールバスを利用する場合は、小学生と一緒にバスに乗車していただくことになる。

(委員)

下校時刻が高学年と低学年と異なる日は、東栗栖小学校と西栗栖小学校のスクールバスがそれぞれ1台だと低学年のバスが出て帰ってくるのに時間がかかり、高学年の下校時刻に間に合わないのではないのか。

(事務局)

下校は、東栗栖小学校と西栗栖小学校の低学年で一つのバスに乗り、もう一つのバスで高学年を送ることを検討している。

4 その他

<質疑応答>

(委員)

放課後児童クラブはどこに設置することになるのか。小中一貫校に設置することになると仕事帰りに迎えに行くことが大変であり、長期休暇中は朝の送りも大変になる。

(事務局)

現段階では、基本的に小中一貫校に放課後児童クラブを設置することを考えている。今後、皆さんからの意見を聞きながら決めていく。

(委員)

学童は、何年生まで利用できるのか。

(事務局)

小学6年生まで利用することができる。

(委員)

西栗栖小学校の児童は、寒さ対策で防寒着をたくさん身につけている。服装に関するルールはどのように考えているのか。

(事務局)

学校とPTAが連携して、保護者の要望も受けた上で決めていく予定としている。

5 閉 会